

## 平成 25 年度加賀市当初予算概要

この資料中、「前年比」は前年度当初予算比を表します。また、「H25 ○○人」等とあるのはその年度の当初予算額又は当初予算における見込みを表します。

### ○全会計の予算総額 578 億 3,430 万円 (前年比 ▲43 億 6,740 万円 ▲7.0%)

平成 25 年度の加賀市当初予算は、橋立小中学校整備事業（一般会計 前年比▲11 億 7,887 万円）、柴山瀧浸水対策事業（下水道事業特別会計 前年比▲5 億 10 万円）、山中浄水場及び新規送水管整備事業（水道事業会計 前年比▲22 億 3,960 万円）等の大型事業が、平成 24 年度にほぼ終了したことなどにより、全会計予算総額が前年比で減少している。

### ○一般会計予算 282 億 9,600 万円 (前年比 ▲10 億 7,400 万円 ▲3.7%) <地方財政計画の伸び率 +0.1%>

※参考 平成 24 年度 3 月補正予算に前倒し計上を行い、平成 25 年度に繰越して執行する予定の 5 億 7,632 万円を含めると

### 288 億 7,232 万円 (前年比 ▲4 億 9,768 万円 ▲1.7%)

主な歳入		(予算額)	(前年比)	(主な増減等)
① 市 税	87 億 7,620 万円	(▲ 2.2%)	法人市民税が増加、市たばこ税も税制改正に伴い増加するが、固定資産評価額の減少等により、市税全体としては減少	
② 地方交付税	74 億 3,800 万円	(+ 5.1%)	市税の減少、市債元利償還費の算入額の増加	
③ 国庫支出金	41 億 2,572 万円	(▲ 9.4%)	橋立小中学校整備補助金、合併補助金等の減少	
④ 県支出金	19 億 5,305 万円	(▲ 1.5%)	緊急雇用補助金の減少、ワクチン接種・妊婦検診補助金の皆減（交付税措置化）	
⑤ 市 債	27 億 3,290 万円	(▲24.9%)	橋立小中学校整備事業債の減少、借換債の皆減	
	うち臨時財政対策債 16 億円	(± 0%)		

なお、歳出に対し歳入が不足する 3 億 8,000 万円については、財政調整基金の取り崩しにより対応する。  
(H24 3 億 4,000 万円)

主な歳出		(予算額)	(前年比)	(主な増減等)
① 人 件 費	47 億 7,675 万円	(+ 2.8%)	参議選等 4 つの選挙に係る人件費の増加	
② 扶 助 費	66 億 6,582 万円	(+ 2.3%)	制度改正、県からの事務移譲等による障害者扶助費の増加	

③ 公債費	38億 1,336万円	(▲ 0.5%)	市債償還利子の減少
④ 物件費	40億 5,374万円	(+ 2.9%)	観光宣伝事業費、選挙事務費の増加
⑤ 補助費	11億 7,730万円	(+ 1.2%)	第1回加賀温泉郷マラソン大会補助金、コンベンション誘致助成費の増加
⑥ 投資及び出資金	3億 5,108万円	(▲62.7%)	病院事業（統合新病院建設事業）出資金の減少
⑦ 貸付金	4億 9,918万円	(+138.8%)	北陸新幹線開業PR推進事業貸付金（全県的なファンドへの貸付）の皆増
⑧ 繰出金	42億 8,642万円	(▲ 1.3%)	国民健康保険特別会計繰出金の減少
⑨ 投資的経費	21億 8,917万円	(▲31.8%)	消防指令システム整備、加美谷線整備費等が増加するが、橋立小中学校の整備がほぼ終了したことにより、投資的経費全体としては減少

※ 参考 平成24年度3月補正予算に前倒し計上を行う投資的経費 **5億 5,815万円** を含めると

**27億 4,732万円** (▲14.4%)

## ○特別会計予算（7会計） 196億 8,270万円（前年比 ▲5億 4,540万円 ▲2.7%）

(1) 国民健康保険特別会計 90億 1,400万円（前年比 ▲3億 8,690万円 ▲4.1%）

被保険者数の減少（H24 20,686人⇒H25 19,645人 ▲1,041人）に伴い、保険給付費の減少を見込む。

(2) 後期高齢者医療特別会計 8億 600万円（前年比 +430万円 +0.5%）

被保険者数の増加（H24 10,600人⇒H25 10,700人 +100人）に伴い、後期高齢者医療保険料収入及び広域連合への納付金の増加を見込む。

(3) 介護保険特別会計 67億 3,140万円（前年比 +2億 1,800万円 +3.3%）

介護保険事業計画第5期（H24～H26）の2年目。要介護・要支援者の増加（H24 3,795人⇒H25 3,831人）に伴い、保険給付費及び地域支援事業費の増加を見込む。

(4) 下水道事業特別会計 27億3,600万円 (前年比 ▲3億9,410万円 ▲12.6%)

片山津処理区雨水管渠整備(柴山瀉浸水対策)が平成24年度で終了し、会計全体の予算額は減少するが、大聖寺川処理区(別所町、山中温泉長谷田町)及び片山津処理区(動橋町、梶井町)における污水管渠整備事業費を増額し、より一層の推進を図る。

(5) 加賀山代温泉財産区特別会計 1億3,840万円 (前年比 +220万円 +1.6%)

「総湯・古総湯」の管理運営事業を引き続き行う。また、古総湯における利用促進事業(小学生及び保護者への体験入浴券配布)を拡大する。(加賀温泉郷全体の情報発信強化を図るため、財産区名に「加賀」を付す名称変更に合わせて、会計名を変更する。)

(6) 加賀山中温泉財産区特別会計 1億6,200万円 (前年比 +60万円 +0.4%)

源泉の配湯事業及び「菊の湯」の管理運営事業を引き続き行う。(加賀温泉郷全体の情報発信強化を図るため、財産区名に「加賀」を付す名称変更に合わせて、会計名を変更する。)

(7) 土地区画整理事業特別会計 9,490万円 (前年比 +1,050万円 +12.4%)

長谷田西土地区画整理事業においては、平成24年度に売却単価の減額を行った保留地について、一層の売却促進を図る。  
橋立土地区画整理事業においては、換地の遅れに伴い、平成24年度に計上した宅地造成及び自転車歩行者道路工事費を3月補正予算において減額し、改めて平成25年度当初予算に計上する。

## 〇企業会計予算(2会計) 98億5,560万円 (前年比 ▲27億4,800万円 ▲21.8%)

(1) 病院事業会計 56億9,280万円 (前年比 ▲10億7,190万円 ▲15.8%)

市民病院事業における収益の増加と、山中温泉医療センター事業における赤字幅の減少により、会計全体として、平成17年の新加賀市発足以来初めて黒字予算に転じる。(病院事業会計全体の収支 H24 ▲1億2,180万円⇒H25 +1,280万円)

(2) 水道事業会計 41億6,280万円 (前年比 ▲16億7,610万円 ▲28.7%)

平成20年度から取り組んできた山中浄水場の整備及び山代配水池への送水管敷設事業が平成24年度で終了し、会計全体の予算額は減少する。平成25年度においては、運転監視制御設備の山中浄水場への一元化事業に着手する。

## 予算編成における基本的な姿勢

### 1. (仮称)加賀市ひと・まちプラン(案)～第1次加賀市総合計画 後期実施計画(平成25～28年度)～を踏まえた予算編成

① 北陸新幹線金沢暫定開業を見据えた、クール加賀 300 万人構想による「訪れてよし」のまちづくり、② おもいやりのある暮らしをつくる「住んでよし」のまちづくりを柱とする標記プラン(案)の策定に併せ、「統合新病院建設事業」、「ヘッドスタート事業」、「加賀ブランド化」、「観光プロモーション強化」など、プラン(案)の主要施策に位置づけた事業について、優先的に予算措置を行った。

### 2. 中期財政計画(数値目標)に基づく健全財政の維持

中期財政計画(平成24年度時点修正版)における数値目標の堅持を念頭に置き、市債残高を増加させないとともに、平成25年度末の財政調整基金残高見込みを、26億3,336万円(中期財政計画では15億円以上)とするなど、健全財政の維持を図った。

#### ・数値目標等の状況(一般会計)

	(中期財政計画)		(平成25年度当初予算に基づく値)	
(1) 平成25年度市債借入額	29億3,100万円 (うち臨時財政対策債を除くと 13億3,100万円)	⇒	27億3,290万円 11億3,290万円	
(2) 平成25年度市債償還元金	33億300万円 (うち臨時財政対策債を除くと 28億3,100万円)	⇒	33億288万円 28億3,083万円	
(3) 平成25年度末市債残高	382億1,000万円 (うち臨時財政対策債を除くと 260億7,300万円)	⇒	381億188万円 261億4,430万円	(平成24年度末) 386億7,186万円 278億4,222万円
(4) 平成25年度末財政調整基金残高	15億円以上を維持	⇒	26億3,336万円	
(5) 平成25年度末減債基金残高	平成27年度までに2億3,000万円を積増し、 9億8,000万円程度の残高を確保	⇒	9億7,869万円 (平成24年度3月補正で 2億3,000万円を積増し)	H24.3月補正に、H26～27年度 実施予定の消防無線デジタル化事 業に充てる合併特例債約2億 2,000万円を前倒し計上したこと 等に伴い、H25年度末では計画を 7,130万円上回るが、H27年度末 には下回る。

### 3. 予算編成過程の「見える化」の取組みと行政評価結果の反映(取組みの継続)

予算編成過程の透明化を推進するため、前年度に引き続き次の取組みを行った。

- (1) 平成23年度事業の内部評価及び各施策に関連する主要な事務事業についての公開外部評価会の実施(平成24年10月)
- (2) 内部評価や公開外部評価会の結果を予算査定作業において活用(平成24年12月～平成25年2月)するとともに、公開外部評価会の対象事業について、評価の結果を踏まえた予算要求から最終予算案までの過程を3つの段階に分けて市ホームページに公開